

1. 件名：東京電力福島第一原子力発電所の事故分析に関する面談
2. 日時：令和5年10月17日（火）10時00分～11時00分
3. 場所：原子力規制庁 6階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

佐藤上席特殊施設分析官（テレビ会議システムにて参加）、岩野調整係長

原子力安全人材育成センター

原子炉技術研修課

上ノ内教官

東京電力ホールディングス株式会社（テレビ会議システムにて参加）

福島第一原子力発電所

燃料デブリ取り出しプログラム部 部長

廃炉安全・品質室 検査担当

プロジェクトマネジメント室 情報マネジメントグループ 担当者2名

5. 要旨

- 原子力規制庁（以下「規制庁」という。）は、本年8月10日に東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から提出された資料に記載されていた「2号機原子炉キャビティ差圧調整ダクト弁の開閉状態に関する調査」について、東京電力から、調査結果及び当該弁の当時の運用に関する確認結果について説明を受けた。
- これに対して、規制庁は、東京電力に対して説明内容に対する事実関係の確認を行うとともに、当該調査及び確認結果について、今後の東京電力福島第一原子力発電所における事故の分析に係る検討会にて説明するよう求めた。
- これに対して、東京電力から了解した旨の返答があった。

6. 資料

- 2号機原子炉キャビティ差圧調整ライン バルブチェックリストの現場調査について

以上